



EAST NEWS

島根県立松江東高等学校

学校だより
第7号
平成27年12月

「楽しむ心」

校長 飯塚 勝

12月3日は、1、2年生による球技大会（バスケットボール競技）でした。ワン・ツウ・スリーと語呂のいい日のクラス・マッチは、とって盛りが上がった良い球技大会となりました。

開会式の挨拶で、「球技大会には、『応援』という言葉が付きものだが、『応援される人になる』『応援できる人になる』という言葉にイメージして過ごして欲しい。そして、そんな応援する・される姿を通じて、仲間との一体感を感じて欲しい」と話しました。

選手は、本当によく走り、一生懸命プレーしました。応援では、ワンプレーごとに歓声が沸きました。期待どおりに『応援される人』『応援できる人』の姿を見せてくれ、一体感が醸成されていました。そんな純でひたむきな姿を見て、生徒たちの秘めているエネルギー、可能性を改めて実感しました。

東雲祭でもそうでしたが、本校の生徒は『楽しむ』ということができる生徒たちだと思います。いま、目の前のことを「楽しむ心」。「楽しむ心」は、学力向上のもととも言えますが、それは、自分の力を引き出してくれるだけでなく、周囲に元気を与え、周囲を変えていく力にもつながります。

10月7～9日に実施した本校初の2年生東京研修旅行。キャリア教育の一環として「首都圏の先進的な研究機関や企業での研修、大学訪問を通じ、知的好奇心を刺激し視野を広げ、進路選択の一助とすることで、自分らしいライフデザインの構築に活かす」ことを第1義とする研修です。

その結団式にあたり、「『東京研修を楽しむ』をキーワードにしたい」と、「楽しむ心」を大事にして欲しいと話しました。もちろん「楽しむ」には、「日常から離れ視野を広げる」「憧れの大学を肌で感じる」等、色んな要素が込められています。更に、楽しむために大事にして欲しいこととして、「好奇心をもって行動する」「出会った場所で、出会った人の話に、耳を澄ます、心を傾ける」こと、一方で「マイナスな言葉を控える」ことを挙げました。「楽しむ」ためには、それなりの心掛けも必要だということです。

初日の夜には、「音楽座ミュージカル」から講師を招き、「MTL（ミュージカルシアターレーニング）」という全く新しい研修を取り入れました。「殻を破る」をテーマとした、2日目の自主研修での企業・大学訪問に生きるコミュニケーション力、表現力の向上につながる内容です。そこでの生徒は、私たちの想像を越える盛り上がり、パフォーマンスを魅せてくれました。劇団員も驚かれる「楽しむ姿」がそこにありました。

東京研修が所期の目的を果たしたのかは、どれだけ良い意味で「楽しむ」ことができたかが一つの判断指標かと思います。その点で、この研修で見せてくれた生徒たちの様々に「楽しんでいる姿」は、生徒の心に将来につながる種が蒔かれたのではないかと思わせてくれました。

勉強も部活も、「楽しむ心」を持つことができれば、一層の成果が期待できるだろうし、生涯に亘って豊かな人生を送ることもつながると思います。年の瀬を迎え、また来年に向け、「楽しむ心」を大切に学校生活を送れるよう努めていきたいと思っています



1・2年生は球技大会で楽しむ！
12月3日（木）

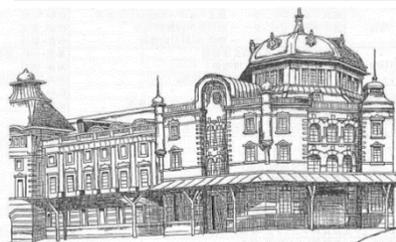


3年生は勉強を楽しむ!!



平成27年度 東京研修 学びの3日間で殻を破る！

特集！



TOKYO STATION

「しおり」表紙絵 安部里莉花デザイン

ついに本校初の東京研修旅行が実施された。東高キャリア教育の中核として2年生に位置付けられたこの企画。他校実践例の研究から始まり、県教委をはじめとする関係各所との折衝など、準備は実現までに2年を要した。

生徒たちもよく頑張った。5月から班別自主研修の研究テーマを検討し、6月には訪問先選びのための調査・研究。7月からは実際に希望する訪問先と電話で直接交渉を開始した。電話が繋がったとたんに、門前払いにされる事業所も多かったが、ひるまず次の候補に電話をかけ続けた。担任を中心とする2年部の先生方も訪問依頼文書の作成、郵送等、事務手続きの面で生徒たちをサポートした。

班別自主研修で訪問した事業所・学校

NHK本社、TBSテレビ、テレビ朝日、集英社、鳩居堂、ソニーミュージック、ガンホー、ゼクシズ、ヤフー株式会社、ソニーエクスプローラーサイエンス、コカコーラ多摩工場、サーティーワンアイスクリーム、不二家、舟和、味の素川崎工場、花王、アンダーアーマーショップ、日建スペースデザイン、ダイワハウス工業、日産横浜工場、ディズニーランドホテル、スカイマーク、日本医科大学付属病院、国立国際医療研究センター、JICA地球ひろば、カナダ大使館、東京観光情報センターすみだ江戸切子館、シダックスカルチャーワークス、サントリーホール、東京ドーム、日本大学、日本体育大学、日本医科大学、宝塚大学、早稲田大学、上智大学、城西国際大学、杉野服飾大学、中央大学、慶應義塾大学、明海大学、国学院大学、青山学院大学、東京医科大学、東京電機大学、芝浦工業大学、千葉工業大学、お茶の水女子大学、東京外国語大学、東京医科歯科大学、東京工業大学、東京大学、東京農工大学、日本工学院、ESPミュージカルアカデミー、服部栄養専門学校

平成27年度 東京研修 概要

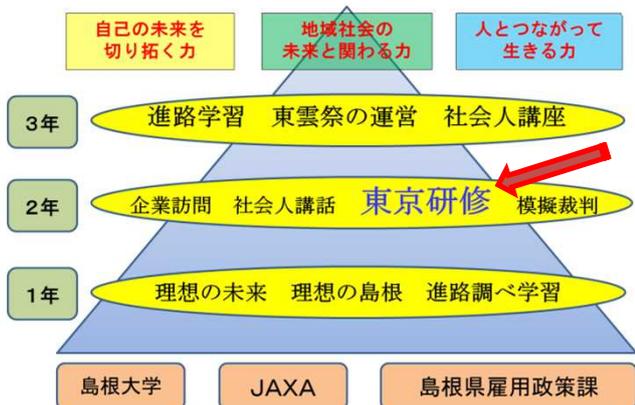
- (1) 目的
 - ①首都圏の先進的な研究機関や企業での研修、大学訪問を通じ、知的好奇心を刺激し視野を広げ、進路選択の一助とすることで、自分らしいライフデザインの構築に活かす。
 - ②自主研修の事前準備に主体的に取り組むことを通じて、計画を遂行する段取り力と自ら物事に取り組む自主性を養う。
 - ③宿泊を伴う集団生活を共にし、グループで協働して行動することを通じ、社会性と仲間と協力し合える力を高める。
- (2) 期間
平成27年10月7日(水)～10月9日(金)2泊3日
- (3) 参加生徒
2年生189名
- (4) 目的地
東京方面
- (5) 宿泊場所
リーガロイヤルホテル東京
- (6) 研修内容
 - 【第1日目】
 - 理系：(全員) 筑波宇宙科学センター
(選択) 高エネルギー加速器研究機構、防災科学技術研究所、物質・材料研究機構
 - 文系：(全員) 東京国立博物館
(選択) 東京造幣局、日本銀行、東京証券取引所
 - 全体：音楽座ミュージカル
 - 【第2日目】
班別自主研修
 - 【第3日目】
 - (全員) 国会議事堂、日本科学未来館
 - (選択) 国立科学博物館、先端技術館、読売新聞、日本銀行、最高裁判所

お台場からレインボーブリッジを望む



みんなでポーズ！
(日銀にて)

東高キャリア教育 研修の位置づけ



苦労に苦労を重ねて迎えた本番3日間。用意周到、大きなトラブルもなく順調に研修は進んだ。もちろん、研修の合間には仲間との語らいやゴージャスなホテルでの美味しい食事を楽しんだ。しかし、研修スケジュールはタイトで濃密なものだった。交通渋滞の影響もあったが初日の音楽座の研修が終わったのは夜の10時前だった。

ハードな3日間であったが生徒は計画どおりの研修をやり終えた。そして笑顔で学校に到着したバスから降りてきた。「おかえり～！」という出迎えの声に返ってきた「ただいま～!!」には殻を破って大きくなった自信が漂っていた。

研修の成果

—生徒たちの声—

- 内容が濃く、とても楽しい3日間でした。普段行けない企業に行って、**様々な仕事を知ることが**できました。
- いろいろな企業で話を聞き、分からないことも知り、**自分の将来について考える良い機会**になりました。



物質・材料研究機構



音楽座ミュージカル研修

- 「殻を破る」ということができた。
- 音楽座ミュージカルで、多くの人が見たこともないくらいはっちゃけていた。
- クラスの友達だけに限らず、この学年の**仲が全体的に深まった**気がします。

- 企業や大学の内容だけでなく、人と**協力し、コミュニケーション**を取ることで、**時間を守る**ことが大切なことであると改めて分かりました。
- 人との関わりや、話を聞くこと、**メモをする能力**が身についたと思う。



班別自主研修



最高裁判所見学

- 空港の広さや人の多さ、建物の高さなど肌で東京を感じて**私が住む世界や見ているものは本当に小さなもの**だと思います。
- 国立博物館では、**教科書でしか見たことのない作品を実際に見ることが**でき、とてもよい経験になった。
- 国会議事堂や最高裁判所を見学してみて実際に国を動かしている様子を知ることができた。**18歳から投票権をもつことができるようになるので自分にも身近なこととして見学**ができた。



右のグラフは参加生徒に実施したアンケート結果です。「この研修全体について有意義だったか？」の問に対して次の5段階で答えてもらいました。
 5：とても思う 4：まあ思う 3：あまり思わない
 2：全く思わない 1：わからない
 90%以上の生徒が有意義だったと答えました。

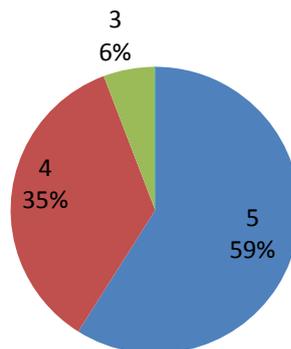
東京研修の意義

教育開発部 田中芳美

このたびの東京研修で、2年生は進路先に関するだけでなく、計画的に行動することの意味、集団生活におけるルール、人との接し方、仲間との絆の大切さ、その他さまざまなことを学んだ。そして何よりも、3日間東京で過ごしたことが自体が大きな経験になった。

生徒アンケート集計結果

研修は有意義だったか



東高生 秋・冬の活躍

10月から11月にかけて各部活動とも新人戦や中国大会、秋のコンクールに臨みました。見事、男子バスケットボール部、男女ボート部が全国大会出場の切符をつかみました。また、書道部の作品が来年度の全国高総文祭の推薦作品に選ばれました。



【男子バスケットボール部】
島根県高等学校バスケットボール選手権大会
優勝 ウィンターカップ（12月）への出場権獲得！

全国の舞台へ！



【ボート部】
第27回全国高等学校選抜ボート大会中国地区予選会
男子ダブルスカル : 山口・吉原 優勝
女子舵手付きクォドルプル : 安達・下村・小堀・金山・清水 2位
両クルーとも全国選抜大会（3月）の出場権獲得！
山口がU19世界ジュニア大会日本代表候補選手に指名

そのほかー中国新人大会ー結果

【テニス部】 男子シングルス : 松本拓己 1回戦敗退
男子ダブルス : 松本・山本ペア 1回戦敗退
【弓道部】 男子個人 : 吉田元春 順位決定競射敗退
男子団体 : 加藤・吉田・廣瀬・野田 予選敗退
【水泳部】 大國正登 : 男子100M自由形12位、男子200M自由形17位
横川 晶 : 男子100M背泳ぎ3位、男子200M背泳ぎ4位
秋鹿匠海 : 男子200M個人メドレー11位、男子200M自由形22位

中国大会

入選作品

東高生の作品が各種コンクールで入選！

【美術部】平成28年度全国高等学校総合体育大会「松江市・安来市開催競技種目別ポスター原画」
『テニス』優秀賞：安部里莉花、『新体操』優秀賞：土肥実森、佳作賞：笹山真鈴
【書道部】第48回島根県高校書道展
『高啓』 : 杉原千晶 全国高総文祭広島大会推薦作品
『臨鄧石如』 : 塩毛里菜 奨励賞
【読書感想文】第61回青少年読書感想文・島根県コンクール入選作品
『耳を澄ます』 : 島田瑠奈 優良賞
【連歌甲子園】第14回全国高校連歌選手権大会
: 地阪幸恵 優秀賞

全国の舞台へ！

行事予定

【12月】

3日 球技大会（1.2年生）
5日 土曜講座⑥
17日 2年生校内実力テスト（～18日）
19日 土曜講座⑦
21日 保護者面談（～28日）
22日 終業式

【1月】

7日 始業式
16日 センター試験（～17日）
土曜講座⑧
20日 ETC⑦
23日 土曜講座⑨
25日 1年生進研実力テスト
2年生進研実力テスト（～26日）



【2月】

2日 1年生校内実力テスト
8日 2年生進研早期マーク模試（～9日）
18日 学年末試験（～23日）
27日 土曜講座⑩

島根県立松江東高等学校

〒690-0823 島根県松江市西川津町510番地
TEL: 0852-27-3700(代表) FAX: 0852-27-3703
HPアドレス <http://www.matsuehigashi.ed.jp/>

学校だより「EAST NEWS」(カラー版)はホームページにも掲載しています。バックナンバーもありますので、ぜひご覧ください!!

編集・発行 松江東高校総務部